



あなんカルチャー

■ あなん遍路おもかげウオーク ～かも道・太龍寺道～

日時 11月25日(土) 8:15～16:00
(受付 8:00～)

集合場所 お松大権現の駐車場(加茂谷中学校西側)

参加料 1,000円(保険料、資料代等として)

参加定員 80人(定員に達し次第締切)

申込方法 往復はがきでお申し込みください。

申込締切日 11月10日(金)(当日消印有効)

往復はがきの記入内容

【往信おもて面】
〒774-8501 富岡町トノ町12番地3
文化振興課「あなん遍路おもかげウオーク」係

【往信うら面】
①参加者氏名(1枚に2人まで) ②住所③電話番号
※参加者が2人の場合、②と③は代表者のみ

【返信おもて面】
参加者(参加者が2人のときは代表者)の住所・氏名

【返信うら面】
白紙のままでも書かないでください。

注意事項
険しい山道を歩きますので、十分な装備でご参加ください。
食事・飲み物は参加者ご自身でご用意ください。
参加料は、当日受付でお支払いください。
雨天時は中止となります。
定員に達した結果、参加できない方にも通知します。

問い合わせは 文化振興課(☎22-1798)へ

■ 「第46回阿南市文化祭」開催のご案内

素晴らしい作品の展示・発表など盛りだくさんの文化祭をお楽しみください。くわしくは今月号の折り込みチラシをご覧ください。
問い合わせは 文化振興課(☎22-1798)へ

■ 「第32回徳島県文化研修会」開催のご案内

日時 11月5日(日) 10:00～14:30
場所 夢ホール(文化会館)
内容 10:00～ 開会式と基調講演
「阿南市若杉山遺跡
～弥生時代の辰砂(水銀朱)採掘～」
12:40～ アトラクション(音楽と舞踊)
問い合わせは 文化振興課(☎22-1798)へ

■ みんなでピアノ以外物語

日時 11月12日(日) 14:00開演
場所 夢ホール(文化会館)
内容 弦楽器、管楽器のアンサンブルやコーラスなど、公募の演奏者が出演します。
入場料 無料
問い合わせは 文化会館「みんなでピアノ以外物語」係(☎23-5599)へ

■ 「阿波の足利～平島公方物語」の増刷について

阿波公方の歴史について書かれた「阿波の足利～平島公方物語」を増刷し、阿波公方・民俗資料館で販売しています。(1冊1,000円)
阿波公方・民俗資料館
那賀川町古津339番地1(☎42-2966)
開館時間 9:00～16:30
休館日 月曜日、祝日、年末年始
問い合わせは 文化振興課(☎22-1798)へ

阿南市の文化財

阿南市文化財保護審議会

会長 湯浅良幸

阿波の藩札(二十)

享保新札(二)

裏面上部の朱印は鶴の字である。表面の小判形朱印と同じものである。ほぼ中央部に摺ってある「元文」の字は扇形の中に書かれている。これは享保十五(一七三〇)年以降、藩札発行の激増および流通の一般化によって贋造札、不良札が市場に出回るようになった。

藩当局は取締りを強化し、低落しつつあった藩札の信用の回復に腐心した。元文年間、阿淡両国一円にわたり藩札の流通を一時停止した。藩札をすべて銀札場に回収し、検査のうへ贋造札を廃棄し、正札に対しては裏面扇形の中へ左書きに元文の二字を加印して再び通用させた。

後に元文印は押印することなく、板木に彫刻され、他の図象と共に印刷されることになった。明治発行の銀札に元文銘があるのは正に陳腐と言えよう。

しかし、元文印の贋札や新しく出現した贋造札の出現には藩当局も手を焼いた。いつの時代でも贋造札や贋造貨は出現し、厳しく取り締まっても防ぐことはできなかった。

一方、江戸時代には、金銀貨の改鑄がしばしば行われた。が、改鑄については公表されないことが多いため、時には贋造貨の方が金銀の含有率が多いという珍現象もあったようだ。

明治札

この札は銭札であって五百文と一貫文の二種があった。一貫文は一文である。

この札は明治元(一八六八)年の銀目廃止と共に翌明治二(一八六九)年銭札として発行された。徳島藩最後の藩札である。



(信濃国通用)

この札は銀札でないため「阿波淡路銀札」の文字の代わりに「阿波淡路通用」とある。この点については気付かない人が多い。古銭(札)収集の楽しみはこんな所にもある。

裏面上部の分銅形の朱印は「銀札一卷帳」には鶴印とあるが、これは誤りであって「見極」という字である。楮銘は網干屋札と同じである。

印刷方法および寸法

印刷は銀札場内の判摺り方(場)で行われた。直接判摺りに当たったものは判摺方である。印刷はすべて手作業である。藩札一枚一枚板木をもって印刷した。

判摺り場には多くの判摺り方があった。それぞれ作業分担を決めて作業を行った。

美濃紙二枚程度の大きさの台紙を横二段に切り、断ち方を下にして縦に切り割り、琉球畳の台にて一枚ずつ手で摺り、順々に受け持ち判を押した。

参考 湯浅良幸著「阿波貨幣史」(続く)

科学センター



ホームページ <http://www.ananscience.jp/science/>

わくわく科学の広場(無料)

簡単に楽しい子ども向けの科学工作を中心に行います。どなたでも参加できます。

実施日とテーマ
10月9日(祝)「鼻のびるゾウを作ろう」
実施時間 午前10時～11時40分、午後1時30分～3時30分
参加方法 当日、実施時間内に科学センターまでお越しください。

デジタルプラネタリウム(無料)

毎週土、日、祝日の午後1時30分、3時、の2回実施。放映時間は約30分。
10月のテーマ 「今夜の星空と太陽系外惑星のお話」

おもしろ科学実験(無料)

毎週土、日曜日(午前11時、午後2時)20分、の2回実施しています。

10月の実施日とテーマ
1日(日)「銅を金ピカにしよう」
7日(土)「色々な回転体を回してみよう」
8日(日)「空気パワーで遊ぼう」
14日(土)「ダンシングコップショー」
15日(日)「キラリと光る銀の鏡」
21日(土)「水風船の大脱出」
22日(日)「紫キャベツで飲み物の性質を調べよう」
28日(土)「パソコンのフリーソフトを活用しよう」
29日(日)「見えない文字を書いてみよう」

科学センタープレゼンツ
「コスミイのサイエンストゥ」

ケーブルテレビあなんにて
毎週水曜日(午前9時15分、午後1時15分、6時15分、9時15分)と日曜日(午前9時15分)に15分間放送。
10月の放送テーマ 「秋の奇妙な星たち」
宇宙で輝く星たちの中には、不思議なことにもより暗く見えたり、明るく見えたりすることがあります。いったいその星では何が起きているのでしょうか?番組ではそんな奇妙な星たちのヒミツにせまります。

問い合わせは 科学センター

(☎42-1600)へ
10月の休館日
2日(月)、10日(火)、16日(月)、23日(月)、30日(月)